

神戸ポートアイランド南公園のアオドウガネ

(兵庫県甲虫相資料・147)

高橋 寿郎

前号で報告させて頂いた神戸ポートアイランド南公園のアオドウガネを調べるべく本年(1984)梅雨明け宣言後の7月18日(水)南公園に行って見た。学校も夏休み前とて公園はほど掃除が行きとどいて気持が良かった。公園に着いたのは午前7時20分、公園を一廻りして回って見たが太陽が照らずにやゝ涼しい状況であった。潮風も肌に爽快であった。鳥に食べられたようなアオドウガネが2~3匹道路に転っていた。ヤマモモの樹には“薬剤を散布していますので実を食べないで下さい”と云う札があちらこちらにぶら下げられている。とに角此の公園はヤマモモの樹は非常に多くあり道路に面した所から眺めたのではアオドウガネは見られなく食痕のようなものも眼につかなかった。可成り見て回って、ある地点で葉上に一匹のアオドウガネのいるのが見えた。道路からやゝ中に入った所であり持って行った杖で念のためヤマモモの枝を叩いて見るとバラバラと4~5匹のアオドウガネが落下して来た。やはりいるのである。道路に面した所は薬剤の散布がきいているのか叩いても落ちて来ないが一寸中に入った所で叩くと大体一撃で3~5匹は落下して来る。落下したものは案早く芝生の中にモグリ込む。ゆっくりしていると見えなくなる個体もいる。やはりヤマモモの樹には相当きていることがわかる。たゞ葉などの食べた跡のようなものは余り眼につかない。ヤマモモの実も割合あったが実に来てると云うわけでもなさそうであった。これ位いるのであるからヤマモモには可成りの被害を与えていると思うのだが短時間眺めただけではその状況はわからなかった。それと一箇所アジサイの花壇が割合広くあり、シーズン終り近くで花の数もそれ程多く無かったが、このアジサイの花とか葉上にビックリする程アオドウガネがいた。葉は確に食害されているのがわかる。葉上には特有の茶黒色の糞が多くついているし、緑茶色の美しく光ったアオドウガネが全くいやになる位見ることが出来た。アジサイを食害していることは間違いが無い(ヤマモモ、アジサイの花も葉もドウガネが食害することは報告されている。湯浅、遠藤、1938)。ハギはあるがまだ時期が早いのでアオドウガネは全然来ていなかった。余り採集しても一応42♂、30♀をもって帰った。いづれもアオドウガネである。ヤマトアオドウガネは今回の調査でも得られなかった(採集は約1時間の間に眼についたものゝ内殺虫管1本に入る程度しか採集していない。これから推測するに相当数の本種がいたと思われる)。兎に角公園管理は大変だと云うことは良くわかるが造った以上はしっかり管理してほしい。害虫たちは大発生する恐れが充分うかゞえる。余程キメ細い対策をたてゝ実施しないと色々問題が発生しそうである。

尚蜂谷幸雄氏から須磨浦公園の駐車場の蛍光灯にアオドウガネが多く来ていることを教えて頂い

た(同時に同所で採集された1♀の御恵与に預った, 27, VII 1984)。早速8月5日同所に早朝(と云っても午前6時40分)行って見た。たゞ此の時間帯では遅いのか数匹いる程度で可成り古くなった不完全死体がいづらか見られた。夜間に来ればもっと多く飛来しているのかもしれない。公園内も一通り歩いて見たが死体は割合あったが生きたのはほとんど見られなかった。一応4♂, 4♀を採集。この地での最盛期はもう少々前なのかも知れない。この場所は海のすぐそばである。この地から西の方垂水, 舞子, 明石公園と本種は分布している。いづれも海岸線に非常に近い地点ばかりである(本年舞子墓地の側溝で8月9日1♂, 1♀の完全死体を拾う)。

ところで鳥原貯水池畔では従来からほとんど本種が採集出来ない。本年も1♀(30-VII-1984), 1♂(7-VIII-1984)が採集出来ているだけである(いづれもドウガネと一緒にノブドウに来ていたものである。ドウガネの方は大変多い)。これ位しげく調査に行っているのだからいとすればもっと採集出来そうなものである。食草の関係からなのか, 良くわからない。新家 勝氏は御自身宝塚大橋で採集された1♂(5-IX-1979)を本年見せて下さってこの時期宝塚大橋の電燈に多く飛来することを御教え下さった(同時に宝塚市の市街地には多いが山間部には少いようだとのべておられ, 市内鳥ヶ脇で撮られた本種のカラー写真を送って下さった。28-IX-1983)。本年8月13日には宝塚市清荒神の境内にいたと云って元気な1♂を紙に包んで愚妻が持って帰ってくれた。このあたりには割合いそうである。本種は海岸線ぞいに多くいることは間違いないが海岸線から離れてどのあたりまでどの様に分布しているのかの点ではまだまだ調査を続けて見ないといけない。(Sep. 1984)

ソボリンゴカミキリの六甲山系における採集例

芦田 久

ソボリンゴカミキリ *Oberea sobosana* Ohbayashi は兵庫県においては中央部の篠山町などから記録があるが, 六甲山系からは未記録のようである。筆者は六甲山系の東端にあたる西宮市角石町で採集された本種を所有しているので記録しておく。

1ex, 23. VI. 1980, 西宮市角石町甲陽学院高校構内, 佐藤 学 採集

採集された場所は, 標高約150mで, 樹相はアカマツ, クスギ, ヤシヤブシなどを中心としており, 林床にはヤマツツジが自生している。採集個体はこの林床を飛翔中であつたとのことである。

また本種はツツジ類を食樹としており, 庭木などのツツジについて移入されるケースが多いと言